

るもい市民の書斎 それが 市立留萌図書館

図書館にあるたくさん本って、
いったい誰がどういふふうを選んでるんだろう……
皆さんはそういう疑問を感じたことはありませんか？
小説、実用書、趣味、娯楽など、
図書館には、さまざまなジャンルの本が
ところせましとならんでいます。
さて、市民の読む本はどのように選ばれ、
図書館に入ってくるのでしょうか？



最新の新刊から名作まで、幅広いジャンルの本がひしめき合っている。

▼図書館って、どんなところ？

市立図書館は、図書や資料を集め、
整理をして、生涯学習にかかわる読
書サービスを市民に提供しているこ
所です。

▼本は、だれが選ぶの？

図書館にならんでいる本は、ここ
で働く「司書」が選んでいます。

司書とは、図書館資料と利用者の
橋渡しをする仕事のこと。図書を選
んだり、市民の読書に関する相談に
応じています。

▼どんな本を選んでるの？

本は、なにを集めるか方針や基準
を決めて選んでいます。

小説…推理小説やエッセイなど
実用書…料理や園芸など
教養書…世界のできごとや学習に
役立つもの

郷土資料…留萌や北海道関係のもの
趣味・娯楽…釣りや旅など

子どもの本…赤ちゃんから中学生向
けのもの

そのほかに、紙芝居や朗読テーブ
もそろえています。



いかに市民が読みたい本を選べるか、
司書たちの腕の見せどころ。

▼どのように本を選んでるの？

本を選ぶために、次のようなもの
を参考にしています。

- ①新刊案内(毎週出版される1,800冊の新刊を紹介しているもの)
- ②各地で開催されている本の展示会
- ③店頭(地元書店、古書店)
- ④出版社のパンフレット
- ⑤市民からのリクエスト

▼一年間に何冊の本が入ってくるの？

ぜんぶで、約5,000冊の本を
買っています。そのほかに、約1,000冊くらいの本が寄贈されます。

▼新刊は、すぐに借りられるの？

新刊書は、館内の端末で確認する
ことができ、すぐに借りることがで
きます。また、地元新聞に毎週約20冊
の本の案内を掲載しています。

▼読みたい本がないときは…

貸し出し中の場合は電話などで予
約を受け付けています。本がもどつ
てきたらすぐ連絡します。

また、高価な本や専門書、出版が古
くて購入できないものは、道立図書
館や道内の公共図書館、また国会図
書館などから本を借りて貸し出しす
ることもできます。

このほか、市立図書館についてのお
問い合わせは、お気軽にお寄せくだ
さい(☎42・2300)。



子どもからお年寄りまで、誰もが楽しめる空間、それが図書館のよさ。